



林 声



OKAYAMA

お か や ま
No.394 . 2007 . 7 . 1



おかやま名木バンク増殖対象木「宇那提森のムクノキ」（津山市二宮）

目 次

おかやま森づくり県民税事業 の取組状況について	2	木材の利用促進	6
県民税事業の紹介	3	林研グループ活動の紹介	6
普及情報	4	研究だより	7
普及指導最前線	5	お知らせ	8
		林産物市況等	10

「おかやま森づくり県民税」事業の取組状況について

岡山県では、県民の皆様のご理解とご協力の下、森林の保全を一層推進するため、平成16年4月から「おかやま森づくり県民税」を導入しています。

県民共有の財産である森林をより良い姿で次世代に引き継いでいくため、県民の皆様にご負担をお願いし、それを財源として「おかやまの森」を守り育てていくとともに、その取り組みを通して森林の大切さを知っていただくことを目的としています。

平成18年度は3つの目的に沿って14の事業（事業費5億8百万円）を実施しましたのでご紹介します。

目 的	事 業 名	H18事業内容・実績
水源のかん養、県土の保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり (事業費：360百万円)	森林機能強化事業	奥地林等の人工林を間伐する経費の助成 ・奥地林等の間伐(1,044ha) ・森づくり作業道の整備(28,309m)
	搬出促進事業	スギ間伐材を市場まで搬出する経費の助成 ・搬出材積(1,937m ³)
	森林災害復旧緊急支援事業	台風第23号で被害を受けた人工林の復旧支援 ・被害木等の整理(656ha) ・跡地造林(772ha)
	水源の森整備事業	県立森林公園に隣接する人工林の県有化 ・土地取得(19ha)
森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進 (事業費：121百万円)	森林保全担い手対策事業	新規就業者の現場研修経費の助成、森林利用施設の整備を通じた新規就業者の研修の場の提供 ・現場研修経費の助成(15事業体、50人) ・森林利用施設の整備(18カ所、183ha)
	木とふれあう環境づくり推進事業	県産木材ベンチの公共施設への設置、学校・公共施設の内装や学童用机等への県産木材利用の促進 ・ベンチの設置(130基、9m ²) ・床・壁、机、下駄箱等の整備(11カ所、63m ²)
	風倒木等活用治山施設整備事業	台風第23号被害地の風倒木を活用した治山施設の整備 ・5カ所、115m ²
	「地球にやさしい暗渠排水」実証研究モデル事業	木材チップ、樹皮付チップを利用した暗渠排水の実証研究 ・2カ所、27m ²
	エコ工法推進モデル事業	間伐材を利用した河川の根固め工の試験施工 ・3カ所、25m ²
森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (事業費：27百万円)	木の潤い空間整備事業	高校生の企画・提案による県産木材を活用した「潤い空間」の整備 ・西大寺高校、勝山高校(9m ²)
	おかやま森づくり情報発信事業	新聞等の広報媒体やパンフレット・パネル等を活用した森林・林業及び県民税事業の広報活動 ・新聞、テレビ等による広報(9回) ・パンフレット配布(10,000部)等
	みどりの大会開催事業	みどりの少年隊が一堂に会する交流大会の開催 ・開催(1回)
	ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業	森づくり活動の支援を行う森林ガイドの養成、県民参加による植樹・保育活動の開催 ・森林ガイドの養成(21人) ・植樹のつどいの開催(76回、4,200人)
環境学習総合推進事業	森林環境教育重点校での人材育成、小学生による自然、森林等についての野外学習の実施 ・高校生が講師となった森林学習会の開催(2回) ・小学生を対象とした野外学習の実施(6校、16回)	



奥地林等の間伐



県産材を使った床・壁の整備



高校生による小学生を対象とした森林学習会

本年度も、引き続き、様々な森林保全事業に取り組むとともに、「県民税」の用途や役割について一層のご理解を深めていただくためのシンポジウムなども予定しています。今後とも「おかやま森づくり県民税」へのご理解とご協力をお願いいたします。

県民税事業の紹介

「木とふれあう環境づくり推進事業」について

県産材の適切な利用は、林業と木材産業の活性化を通じて森林の整備に貢献し、県土の保全や水源のかん養などといった森林の持つ多面的機能の発揮に寄与しています。

また、木材を利用することは、地球温暖化防止にも貢献します。製品加工に必要なエネルギーの量が鉄などに比べて少なく、二酸化炭素を木の中に固定しているからです。

県産材の利用促進と需要拡大を図るため、おかやま森づくり県民税を活用して、県民の皆さんに木材の良さを実感していただけるように様々な取組みを行っていますので、その一部を紹介します。

1 おかやまの木でつくる快適環境整備促進事業

人と環境にやさしい木材を使って快適な環境を創出しようと平成十七年度から始めた事業です。

これまでの二ヶ年間で幼稚園、小・中学校や公民館など、延べ二二箇所に助成しています。

教室の床・廊下の壁や机・椅子を県産材で整備し、木材の色調や感触が子供達の教材として有効に活用できると好評を得ています。

この事業は今年度も実施しており、助成対象は、公共施設や学校等といった普及展示効果の高い施設に、県産材を利用した内装整備や木製用具を導入した場合が該当します。

【木とふれあう空間整備】

公共施設等の新築・改修等に伴う床・壁等の内装木質化整備費の1/2を助成します。

【木製用具整備】

学童用机・椅子、テーブル、木製用具、ゴミステーション等の整備費の1/2を助成します。



県産材を利用した床・壁

2 木の香る憩いのまちづくり推進事業

地域の皆さんによる、「自主的で計画的な地域づくり」における県産材の使用を支援する取組を本年度から新たに始めます。

観光地や商店街など多数の集客が見込まれる場所や身近な広場等の公共的な場所に、地域コミュニティ活動の一環として、県産材を使用したベンチやプランター等を設置する場合には、その経費の一部を助成するものです。

実施に当たっては、木材の特長を活かした利用方法など、計画の段階から、県の森林・林業の専門職員がサポートいたします。
【事業主体】町内会や商工関係の各種団体、NPO法人、市町村等
【補助対象】ベンチやプランターなど県産材を使用した施設の組立や設置に要する経費
【補助率】1/2以内
【募集期間】八月三十一日まで
【応募先】県民局・支局森林課

なお、ベンチやプランター等を設置する場合でも、単に既製品を設置するだけでなく、キット（部品）を組み立てることとするなど、県産材利用の普及啓発につながるコミュニケーション活動を併せて計画していただくことになっています。

また、今年十一月に開催される「まなびピアおかやま」を始め、大規模な行事の会場に、県産材を使ったベンチやフラワーポット等の木製品を際立つように配置し、木の香る温かい雰囲気の中で県内外からの多数の来場者をおもてなしす



懸垂幕による普及啓発(岡山駅前)

ることとしています。

これらの取組等を通じて、一人でも多くの方が木材の良さを実感され、暮らしの中に木材を積極的に取り入れるなど、県産材の利用に対する良き理解者となつていただけることを期待しています。
(林政課 木材需要拡大推進班)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・住宅用プレカット資材

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代) FAX086-262-0130

普及情報

「シイタケ原木の適期伐採」

シイタケ栽培で現在使われている種駒は、昭和初期に考案されました。それまでは、原木を伐採し、シイタケの胞子が飛んでくるのを待つというまさしく風まかせの栽培でした。

種駒や品種が改良され、扱いやすくなりましたが、ほだ木づくりの各作業をそれぞれの適期に、適切に行うことで原木を最大限に活用でき、より多くの収量が望めるほだ木ができます。

・原木の伐採時期

貯蔵養分がたくさんある時期
樹木は葉で養分をつくり、幹や枝の成長に利用し、新芽の準備を行います。落葉樹が赤や黄色に色づく頃は貯蔵養分の多い時期といえます。

水分を抜きやすい時期
シイタケは、死物寄生菌です。

シイタケの原木となるコナラやクヌギなどは、伐採後でも材中に多くの水分を含んでいるときは、依然活動を続けているので、伐採した木から新しい芽を吹いてくることもあります。このため、材を葉

枯らしにより乾燥し、枯死させます。

樹皮がはがれにくい時期

シイタケを発生させるためには、樹皮も重要な役割を果たします。樹液が流動しているときは、樹皮がはがれやすくなっています。

伐採の適期は、一般的に黄葉の程度で判断し、黄葉初期から七分程度を目安にします(図参照)。

カシ類、シイ類の常緑広葉樹は、樹皮が薄く、樹液の流動が遅くまで続くので、樹皮が最もはがれにくい厳寒期に伐採します。

樹種	伐採時期						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クヌギ		■	■	■			
コナラ		■	■	■			
ミズナラ					■	■	■
カシ類・シイ類					■	■	■
シデ類		■	■				■

■:最適期 ■:適期

図 伐採適期 菌茸2006.10月号 日本きのこセンター P7 原木の伐採時期 改変

・葉枯らし

原木の伐採後、材を乾燥させる(枯死させる)ために、葉の蒸散作用を利用します。伐採後に葉を付けたまま一定期間放置することにより、葉から原木の水分を抜きます。これを「葉枯らし」といいます。黄葉が進むほど、原木の乾燥時間は長くなり、落葉後に伐採したものは、ほとんど乾燥しませ

ん。

葉枯らし期間は、従来、一〜二か月といわれていました。

しかし、この間にクロコブ病等の雑菌に感染することが判明したため、近年では二〇日間程度に短縮されています。木口面で、材の中心から2/3くらい小さいヒビが入ったときが乾燥終了の目安です。

・その他の注意事項

年ごとの気象条件(特に積雪)や葉の量など樹木の生育状態にもより伐採時期は前後します。

また、伐採時期は、農作業も忙しいときであり、適期を逃さないように早めの準備が必要です。能率の良い作業計画を立て、チェーンソーなどの伐採機具の点検・整備にも万全を期し、安全作業を心がけてください。

(林政課 林業普及指導員)

緑庭造 化園設 用園計 種樹計 苗樹計 器各種施 材芝工



株式会社 **菁芳園**

岡山市東古松2丁目10-28
電話 222-4038

緑豊かな未来のために

緑資源機構分収造林

独立行政法人
緑資源機構中国四国整備局

〒700-0826 岡山市磨屋町2番5号
TEL(086)226-3295 FAX(086)231-6344

普及指導最前線

間伐材の有効利用 吉備中央町加茂川地域で 移動式製材機を活用 岡山普及指導区

この移動式製材機は、森林所有者、地域住民及び森林ボランティア団体等が森林・林業体験を通じて連携し、自ら間伐材の有効利用を図ることにより、間伐の推進とともに県民参加の森づくりを推進するため、加茂川町森林組合が事業主体となり導入されました。当普及指導区の指導により、町は保管場所を提供し、森林ボランティアは機械を使って間伐材を有効利用することとしています。

五月には吉備中央町の施設「しいたけの里のこのこ・くりくり」で、ボランティア会員や林業関係者ら約三〇人が参加して、安全使用の説明会が開催されました。

現在毎月第三土曜日に「加茂川ホリデイフォレスト（会員三四人）」が中心となって、製材機の活用を呼びかけています。

「ホリデイフォレスト」は平成十五年、手入れの行き届かない

地域の森林を守ることを目的に発足し、間伐や下刈りなどの活動に取り組んでいます。間伐材はこれまで大半が林内に放置されたままであったため、会員からは「もったいない」との声が上がっていました。移動式製材機の導入により、「間伐材を有効利用できれば、山作業をする励みにもなる」と話しています。

六月に入って製材機保管用の屋根を建築しており、今後はベンチやプランターを製作し近隣の学校などへの配布を計画しています。



（林業普及指導員 大森章生）

新見市神郷女性林業研究グループの「夢づくり推進大賞」受賞について 新見普及指導区

一 はじめに

岡山県の西北に位置する新見市神郷で、女性の地位向上とむらづくりを進める「新見市神郷女性林業研究グループ」（会長山口紀久子）が今年度の「夢づくり推進大賞」を受賞したので紹介します。

二 内容

この「夢づくり推進大賞」は、県政の中期行動計画「新世紀おかやま夢づくりプラン」に沿って官民協働の地域活動を推進したグループや団体に贈られるもので、受賞グループ二団体の内、林研グループとしては県下で初めて、このグループが選ばれ、五月二二日、県庁において石井知事から表彰状が授与されました。

同グループは、旧神郷町時代の昭和五六年、椎茸生産農家の婦人を中心に、山村に住む女性の自立を目指し女性の視点から林業の新しい可能性を探ろうと会が発足され、椎茸の生産をはじめ椎茸を使った郷土料理の研究や山の恵み

を生かした様々な活動を展開しています。最近では、資源が豊富なスギの葉に着目し、これを使用したリースづくりや草木染め、スギ玉づくりを行い、地区の公民館活動などで好評を得ています。

また、昨年度は県南部のイベントにも参加し川上と川下の交流を深めるとともに、森林・林業の情報発信を行い地域の活性化に大きく貢献しています。更に独自でホームページを立ち上げ活動を全国に紹介し、インターネットによる特産品の販売にも力を入れています。



こうした活動が評価され、平成十七年度には、全国林業グループコンクールで最優秀の農林水産大臣賞を受賞しています。

三 おわりに

当普及指導区としては、模範的な林研グループとして他の手本となるよう、積極的に支援を図っていきたくと考えています。

（林業普及指導員 木村正三）

木材の利用促進

おかやまの木でつくる快適環境

倉敷普及指導区

木材は、使用する人に暖かみや快適さもたらすという、優れた機能を有しています。

今回は、「おかやまの木でつくる快適環境整備促進事業」を活用して、園児用の机や椅子を整備している「あさひ幼稚園」を紹介いたします。

同幼稚園では、この事業を積極的に活用し、平成十七年度に園児用木製椅子三〇〇脚、平成十八年度は園児用木製机八〇台を導入しました。

幼稚園の岡本理事長は「幼児教育は環境とおしでの教育で、目に見えない影響が大きく、この事業をもとに、木のぬくもりを視覚・触覚・嗅覚で感じ成長してもらいたい。」と言われており、さらに、今年度は園児用木製ロッカー一二台の導入を予定しています。

その他の事例として、総社市の「清音小学校」では木製机・椅子を各六〇個導入、倉敷市の「みの

り幼稚園」では遊戯室等の改修に伴い木材を多く使用した床壁の整備を行っています。

また、公共の場として早島町では、ふれあいの森公園の木製遊具六基を整備し、子供たちの遊び場として広く活用されています。

このように、小学校や幼稚園等の施設で木材を使用することで、児童・園児を通じて保護者の木材利用に対する関心も高まるのではないかと考えています。

今後木材の需要拡大を推進するため、本事業を活用した事例紹介や木育の重要性をPRしていきたいと考えています。



(林業普及指導員 築山良昭)

林研グループ活動の紹介

ベンチ作り研修

『真庭森林・林業研究会』

真庭普及指導区

一 はじめに

真庭森林・林業研究会は、平成十七年八月に、市町村合併を契機として、旧町村単位にあつた七つの林研グループが一つになり、森林・林業に関する知識と技術の向上、地域の森林整備の推進や林業振興等を図る目的で設立されました。現在は会員数七一名で活動しています。

二 活動の紹介

今回は、湯原地区の林研が中心となつて平成十九年六月十一日、十五日のうちの三日間、真庭市豊栄の湯原きのこセンターで開催したベンチ作り研修を紹介します。

この研修は、旧湯原林業研究会が、木材の良さを広く皆に知ってもらふと同時に会員相互の親交を深めるため八年前から始めたものです。



製作風景

ベンチ作りは、会員が仕事の合間をぬいながら、各自で道具を持ち寄り、自前で調達した風倒木を利用して行いました。

皆で力を合わせてできたベンチは合計一四脚。座の部分に丸太半割を使ったものが四脚、厚さ一五センチ程度の板材を使ったものが一〇脚出来上がりました。



半割タイプ



板材タイプ

作る前から注文をとると多すぎで対応できないので、まだほとんど納入先は決まっていませんが、真庭市各地の公共施設等へ嫁ぐことになるでしょう。ちなみに一脚は久世の真庭市林業振興課へ嫁入りするそうです。

皆様、真庭へお越しになった際には、是非写真のようなベンチを探してみてください。木のぬくもりと林研の方々の熱い思いが伝わってくるかも知れませんよ…。

(林業普及指導員 石原則男)

研究だより

「木材の複合乾燥のための技術的ガイドライン」を発売

岡山県木材加工技術センター

専門研究員 河崎 弥生

一 複合乾燥の研究の背景

当センターでは、平成十四年度に林業・木材産業構造改革事業によって導入したオーブンラボ複合乾燥装置施設を用いて、スギ心持ち・無背割り柱材の新たな乾燥方法の開発に取り組んできました。

これまで、心持ち柱材は、一材面に背割りをを行うことで他の三材面の割れを防止し、化粧面として使うという手法が取られてきました。しかし、阪神・淡路大震災以降、接合部に金具を用いる工法が増加し、さらにプレカットの普及とも相まって、背割りの無い柱材が好まれるようになりました。心持ち材を背割りをせずに乾燥させれば、表面に不規則で大きな割れが発生しますが、建築側は見た目を重視し、材面割れの無い製品を要求してきています。

この要求に対応できる画期的な技術として登場したのが、「高温乾燥法（高温セット法）」です。しかし、この方法では、材面割れ

はかなり抑制できるものの、二〇 付近の高温条件を用いるため、変色は大きく、耐久性の低下も懸念されています。また、深刻な問題点としては、材面割れの抑制に重点を置きすぎると、かえって内部割れを誘発することになり、激しい場合には、強度性能が大きく低下することもあります。

このような状況を受けて、当センターでは、熱的劣化の可能性が少なく中温域（一〇〇 未満）の条件を用いた熱風減圧乾燥や熱風減圧高周波乾燥の技術開発を行い、懸念される内部割れや変色等の軽減対策に取り組んできました。

こうした複合乾燥技術の研究は、全国的にも新しい取り組みで、試行錯誤が続いています。当初に目的としたレベルの高品質乾燥材を生産できる確率も、かなり高まってきました。

今回、これまでの研究成果を「木材の複合乾燥のための技術的ガイドライン」として取りまとめ、県内の木材業者を対象とした研修会を開催するとともに、関係者に配布して、新しい技術の普及に努めています。

二 ガイドラインの概要

平成十九年二月の発刊で、A4版・カラー・六十七ページです。

主な内容は、複合型木材乾燥装置の特徴と使用方法、この装

木材の複合乾燥のための技術的ガイドライン



平成 19 年 2 月

岡山県木材加工技術センター

置を用いた技術開発の可能性、複合乾燥の水分移動のメカニズム等の基礎的要点をまず解説し、さらに、今回の主要な研究成果である 中温域を用いた熱風減圧乾燥、熱風高周波減圧乾燥の適切な乾燥条件、 実用装置の導入方法などを、具体的に掲載しています。

特に、第七章「複合乾燥を開発するための具体的ポイント」には、積積み方法、割れの抑制方法、風速・温度・湿度等の設定方法、減圧や高周波設定の具体的なポイントなどを、詳細に記載しています。

複合乾燥に関して、このように総合的に取りまとめたテキストは、全国的にも初めてであり、今後県内の木材業界の方々が、高度な乾燥技術に注目され、複合乾燥に取り組む際には、大いに参考にしたいだければと願っています。

三 今後の展開

針葉樹構造用製材の乾燥技術が、今後どのような展開を見せる

のか、興味を持たれるところでは、近年、乾燥材のユーザは、品確法等に対応できる高品質な乾燥材を求めています。生産者である製材工場は、この要求に的確に対応する必要がある、今後、より一層、乾燥技術の革新が必要となると考えられます。

このような状況下で、当センターが開発している複合乾燥法も、新しい革新的技術として、注目されています。開催した研修会でも大きな反響があり、将来の乾燥技術のあるべき姿について、新たな議論が行われるようになってきました。今後も、研究を継続し、随時、成果をお伝えします。

緑あふれる環境づくり

 株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市門田文化町2丁目11番51号
 TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142
<http://www.harenet.ne.jp/yamatoya>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

お知らせ

「おかやま森の大使」募集中

当協会では、森づくり活動への参加や県産材の需要拡大を図るため、各種イベントに参加して森林・林業の大切さや木材の良さをPRするキャンペーンスタッフ、おかやま森の大使」を募集しています。募集人数は二名で、活動期間は平成十九年十月から一年間です。

応募資格は十八歳以上の県内在住者で曜日を問わず各種イベントに参加可能な方です。ただし、他の同様なキャンペーンスタッフとして平成十九年十月以降も活動する方は応募できません。

応募は、履歴書（募集チラシの裏面又は市販のもの）に写真（六ヶ月以内に撮影した全身写真）を貼付し、八月三日（当日消印有効）までに最寄りの当協会支部（各県民局・支局森林課内）に提出してください。

選考会は、八月二二日（予定）に岡山市内で開催いたします。

【お問合せ先】

岡山県林業改良普及協会（県庁林政課内）

☎〇八六 二二六 七四五

（林政課 普及指導班）

熱中症に注意しましょう

今年も暑い夏が来ました。毎年6月から9月にかけて、各地で「熱中症」による災害が多く発生します。

熱中症は、高い気温や湿度のもとで、体温調節や循環機能などの働きに障害が起こる病気で、めまい・頭痛・耳なり・嘔吐・脱力感等がみられ、意識障害に陥ることもあります。

直射日光にさらされ、高温となる森林作業では、次のことに注意して熱中症を防ぎましょう。

水分、塩分の補給のためスポーツドリンクなどや身体を適度に冷やすことのできる氷、冷たいおしぼりなどを備え付けましょう。

日陰などの涼しい場所に休憩場所を確保しましょう。

十分な休憩時間や作業休止時間を確保しましょう。

作業服は吸湿性、通気性の良いものを着用しましょう。

体調不良の場合は、無理をせず休みましょう。

現場責任者は、作業者の健康状態を把握し、作業中も巡視などにより健康状態を確認しましょう。

（林政課 林業振興班）

岡山県立森林公園 自然観察会 参加者募集中

県立森林公園では次のとおり夏の自然観察会が開催されます。

県北の豊かな自然がそのまま保たれた広い園内を、講師の案内により、多様な植物や多くの野鳥を観察しながら散策できます。

記

【日 時】七月二十二日（日）

一〇時半～一四時半

【申込み】往復ハガキに住所、氏名、電話番号、交通手段（臨時バス利用者）は「乗車地の別（岡山駅・倉敷駅・津山駅）」、参加人数を明記の上、七月二十二日（木）までに郵送してください。

【その他】定員（一五〇人）になり次第締め切ります。雨天でも開催します。昼食は持参してください（弁当の予約販売有り、申込みハガキに明記）。臨時バスは有料となります。

【申込み・問い合わせ先】

（財）上齋原振興公社総務課

〒七 八 六 一

苫田郡鏡野町上齋原五一四 一

〇八六八（四四）二六五七

http://www.ombara-kogen.com/sinrin-hp/oshirase/index.html

（林政課 おかやまの森づくり班）

コマツのグラップルレンタル機ラインナップ

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国(株)津山営業所
TEL.(0868) 28-2261



ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9ト	7.4ト	13.9ト
接地幅	1,960mm	2,320mm	2,490mm
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185mm	1,620mm	1,910mm
最小掘み径	105mm	95mm	80mm
ウインチ	有	無	無



林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。1日からでもお気軽にご利用下さい。



森林林業関係イベント参加者募集中

開催日時	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
H19.7.6(金)	勝山美しい森 (真庭市菅谷)	真庭美しい森林づくりの会総会及び下刈り	真庭美しい森づくりの会事務局 (真庭支局森林課内) TEL:0867-44-7566
H19.7.7(土)	共生の森・勝北 (津山市大岩地内)	下刈り	美作県民局勝英支局森林課 TEL:0868-73-4058
H19.7.14(土)	共生の森・久世 (真庭市三阪地内)	下刈り	美作県民局真庭支局森林課 TEL:0867-44-7566
H19.7.15(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾 第87回杜の市 特産品の販売等	櫛の杜塾 会長 藤井直彦 〒715-2111 井原市門田町3892 TEL:0866-62-5685
H19.7.21(土) 10:00~14:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	昆虫観察会	NPO法人ふれあいの里・高梁事務局 TEL:0866-22-1000 FAX:0866-22-1741
H19.7.21(土)	共生の森・哲多 (新見市哲多町田淵地内)	下刈り	備中県民局新見支局森林課 TEL:0867-72-9169
H19.7.28(土)	共生の森・加茂川 (吉備中央町下加茂地内)	下刈り、簡易製材体験	備前県民局森林課 TEL:086-233-9833
H19.7.28(土)	共生の森・柵原 (美咲町書副地内)	下刈り	美作県民局森林課 TEL:0868-23-1384
H19.8.19(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾 第88回杜の市 特産品の販売等	櫛の杜塾 会長 藤井直彦 〒715-2111 井原市門田町3892 TEL:0866-62-5685

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

表紙の説明
宇那提森(うなだがもり)のムクノキ

津山市二宮の高野神社参道入口にあるムクノキの巨木で、地面で三枝に分かれており、主幹は胸高直径二〇センチ、樹高二〇メートル、推定樹齢は七〇〇年です。

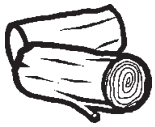
宇那提森は、万葉集など多くの歌集に詠まれており、かつてこの辺り一面は、巨木の森でした。しかし、戦国のころに伐採されたこのムクノキのみが残ったといわれています。



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>



林産物市況



木材 (6月16日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況			
杉	3 m	7~13	300	-	本120	出荷材積 約1,900m ³ 杉 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 横ばい		
		14細	7	-	本120			
		14~16	12.5	-	7.5			
		18~20	12.5	-	7.5			
	4 m	7~12	本300	-	本170			
		18~22	11.5	-	9			
		24~28	11.5	-	9			
	6 m	18~20	18	-	10			
	桧	3 m	7~10	本230	-		本120	桧 中目材 やや弱い 柱材 やや弱い 小径木 やや弱い
			11~13	本320	-		本120	
14細			15	-	6			
14~16			24	-	22.5			
18~20			23	-	22.5			
22~24			19	-	15			
4 m		26cm上	19	-	15			
		7~13	本250	-	本170			
		14cm	23	-	18			
		16~18	25.5	-	23			
6 m		20~22	19	-	16			
		24~28	19	-	16			
		30cm上	25	-	20			
		14cm	18	-	15			
松	3 m	18~24	10	-	6	記号 強気配 横ばい 弱気配		
		16cm	34.5	-	31			
		22cm上	20	-	17			
松	4 m	18~20	34.5	-	31			
		22cm上	20	-	17			

乾しいたけ (6月29日)

- ・出品数量 11.5 t
- ・価格高値 7,520円
- ・安値 410円
- ・総平均 3,840円

銘柄	価格		相場
	平均	高値	
香信大	4,340	5,890	
香信中	4,170	6,190	
香信小	4,200	5,390	
小間	-	-	-
香信山成	4,200	5,200	
バレ大	3,460	5,250	
バレ中	3,640	5,200	
スライス	3,040	5,350	
花どんこ	5,710	6,030	
上どんこ	4,510	5,190	
並どんこ	4,150	5,500	
並並どんこ	3,780	5,200	
小玉どんこ	2,870	4,390	
山成どんこ	3,840	4,410	
こうこ	5,480	7,520	
格外	2,620	3,960	

価格：円/kg

(相場)

強： 保合： 弱保合： 弱：

資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (6月下旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	33,000~35,000
		特等	K	45,000~55,000
	正角 3 m 12cm角	特等	G	33,000~35,000
		特等	K	45,000~55,000
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	68,000~75,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	68,000~75,000
マツ	平角 4 m 10.5~12cm x 15~18cm	一等	G	35,000~40,000 KD 60,000~65,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	48,000~51,000
	平角 3 m、4 m 10.5 x 15~21cm	特等	G	48,000~51,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	G	56,000~58,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm x 10.5cm	特等	K	58,000~63,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。



「緑の募金」

ご協力をお願いします

募金期間
春のみどりの月間：4月1日 - 5月31日
秋のみどりの月間：10月1日 - 10月31日

緑の募金で
ふせごう地球温暖化
21世紀は森林の世紀

(社)岡山県緑化推進協会
岡山市錦町1-8 TEL・FAX(086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります

水を活かす
FOREST

株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
 治山・林道の調査、測量、設計
 森林整備の総合計画
 治山・林道に係る用地測量
 公共事業に係る保安林業務



社団法人 **岡山県治山林道協会**



本所 〒703-8233 岡山市高屋225 - 1
 TEL (086) 271 - 3711
 FAX (086) 271 - 3773
 支所 〒708-0013 津山市二宮1849 - 2
 TEL (0868) 28 - 9360
 FAX (0868) 28 - 9363

安全・人と自然・調和 造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
 〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：原岸株式会社
 TEL：086 - 465 - 7136

大同商事(株)大阪営業所
 TEL：06 - 6231 - 2819

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン[®] 乳剤

樹幹注入剤 **グリーンガード[®]・エイト
 メガトップ[®] 液剤**

伐倒木用くん蒸処理剤

キルバー[®]

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤C,D

お問合せは 県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪営業所
 大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

危険な伐採・草刈作業等で、他人（第三者）にケガをさせたり、物を壊した場合に生ずる法律上の賠償責任を補償する保険です。

請負賠償責任保険

引受保険会社 共栄火災海上保険㈱
東中国支店 岡山支社
〒700 - 0026 岡山市奉還町1丁目7番7号
(オルガ7階)
(TEL) 086 - 214 - 3562
(FAX) 086 - 255 - 0771

お守りとして、是非ご検討ください。

お問い合わせは

共栄火災海上保険株式会社 代理店
株式会社 ケンモリへ
(岡山県森林組合連合会 100%出資会社)
〒700 - 0866 岡山市岡南町2丁目5番10号
(TEL) 086 - 224 - 7343
(FAX) 086 - 224 - 2655
承認番号 B0724062 A0004 2007年4月

林声 平成十九年七月一日(三九四号)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

Five product categories: Green Form Mat, Mori Shiro Mat, Tension Wood, Harinbamokk, and Paper. Each includes a small image and description of use.



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材や古紙を有効利用した環境緑化資材です。

Nihon 日本植生株式会社

http://www.nihon-shokusei.co.jp/
東中国支店 / 津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山営業所 / 岡山市横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

編集 岡山県庁林政課内
岡山県林業改良普及協会

FOREST INSURANCE
森林 国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
岡山県では平成18年度に10億円以上の保険金が支払われました。

契約のモデルケース (1haあたり)

樹種...ヒノキ 契約時林齢...1年 保険期間...5年 保険金額...最大188万円
一時払いだと21,225円(5年間計)
樹種...ヒノキ 契約時林齢...26年 保険期間...5年 保険金額...最大299万円
一時払いだと37,375円(5年間計)

1ヶ月あたり約350円 わずか缶ビール1本分

1ヶ月あたり約620円 わずかラーメン1杯分

保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
条件によって金額が変わってきますので、詳しくは最寄りの森林組合、県民局・支局森林課まで

岡山県農林水産部治山課

電話番号086(224)2111(代表)
086(226)7455(直通)